

編集デスク <20>

秋田は昨年の国体のおかげで街づくりが進んだから見違えるようになった。道路もよくなったし、また裏日本一と誇るニュー・グランド・ホテルができた。東京の一流ホテルにくらべたら見おとりするのではやむを得ないが、新しいから立派である。ホテルのあるなしによって外人観光客の誘致にも影響するところが大きいであろう。現に看護研究学会の開かれる頃には、ハワイからの観光団で、このホテルは満員だという。

看護研究学会が秋田で開かれるので秋田では大童で準備を整えた。学会を契機に、医学書院でも第2回看護学セミナーを開催するので、私は先日秋田に行ってきたが、好感の持てる街である。そして、看護協会の秋田支部や厚生部医務薬事課の方々

の努力には心打たれた。総合学会会場にあてられているスポーツセンターは県庁のすぐ近くにあり、このあたりの役所街は、雄大な構想で計画が進められており、ごみごみした東京などと違って大自然の風致の中に青写真が引かれているだけに、思い切った街づくりができるのが強味である。秋田の知事は立志伝中の人で、たいへんなきれもので、しかも

看護研究学会の秋田

—長谷川 泉—

人格者だそうだ。

第1分科会会場の県民会館、第2分科会会場の産業会館と併せて、秋田は全国の看護界の注視のまとなる。3千余人が集中しても大丈夫だという。県民会館は、珍しい石垣なしの城のすぐ下にある。デラックスな建物である。産業会館は、秋田の

メイン・ストリートに臨み、医学書院の看護学セミナーは、ここで行なわれる。

医学書院の看護学セミナーには立教大の藤本喜八教授が働く者の心理を講ずる。カップ・ボックスの「職場」の著者であり、大学教授としては異色の経歴が示すように、現場の豊富な知識を持っておられる。職場の難問が快刀乱麻を断つように、見る見る解決されてゆくであろう。セミナーには私が前座をつとめる。ナーズの教養について、を喋る。内容は？ 今まで喋ったことと全く違った内容を喋るつもりである。

秋田には医学書院の特約店の三浦書店がある。仙台などをしのいで東北一の売り上げを持つというが、これが全国の本屋さんの中では、たいへんな変り種である。その異色ぶりは、多分看護研究学会の会場で発揮されるだろう。

あ

と

が

き



会ったとたんに、「私、埋没しちゃいそうだわ。」と言われた。内心ギョッとした。「なぜ？」と問うたらあいまいな微笑をもらしただけだった。

久しぶりに会った若手の看護婦さんに、のっけからワン・ツーパンチを喰ったような気持だった。臨床経験4年半、そろそろ仕事の面白さも覚え、これからという時だろうに、研究熱心な彼女をして、何が「埋没」させるようにしたのだろう。

都内のある病院の婦長さんに面白いお話をお聞きした。「同じ苦しみ

をなめるなら、自分の愛する方のためにしわを作ったほうがいいわ。」という考えが多いそうだ。そして若々しい看護婦さんたちは次々に姿を消してゆくというのである。

現実の姿として、この二つの話は考えさせられるものを持っている。看護という仕事に魅力を感じられないということ、それは必ずしも魅力を感じない看護婦さんたちが悪いのではなく、魅力のないところに追いやられている日本の看護そのもののあり方に、むしろ問題があるといえよう。(N)

原稿募集

Guide for Teachers, 教案, 臨床指導, 学生指導, 院内教育, 看護管理, 学校管理, 病棟管理, 研究その他広く看護教育, 看護管理に関する論文を募集いたします。原稿枚数は原則として400字詰15〜20枚, 締切期限は設けません。日ごろ考えておられること, 感じておられることを奮って投稿していただきたいと思います。

—看護関係 発行雑誌—

一部誌代 一年

看護教育……(月刊)……150. ……1,800.

保健婦雑誌……(月刊)……150. ……1,800.

助産婦雑誌……(月刊)……130. ……1,560.

看護学雑誌……(月刊)……150. ……1,800.

看護教室……(月刊)……80. ……960.

病院……(月刊)……350. ……4,200.

明善印刷・馬場製本

担当(栗原・西村)